

川崎区区民会議だより

かわさきく くみんかいぎだより

発行：川崎区役所企画課

〒210-8570 川崎区東田町8番地

電話：201-3296 FAX：201-3209

No.6

第2期 第1回区民会議を開催 します

日時	平成20年7月30日(水)
	午後6時半から 2時間程度
場所	川崎区役所7階会議室
傍聴	当日先着20人



7月30日(水)午後6時半から、第1回区民会議を開催します。

区民会議制度は平成18年7月にスタートし、第1期区民会議は今年6月までの2年間の任期で、地域の課題解決に向けた議論を行ってきました。今回新たに委員が選任され、第2期区民会議としての初めての会議になります。今年度の審議テーマ、正副委員長の選任、専門部会の設置などが話し合われる予定です。

みなさんがお住まいの地域をより良くするためにはどうすればいいか、区民が知恵を出し合います。傍聴は自由ですので、ぜひお越しください。傍聴の際に保育を希望される方は、7月25日までに川崎区役所企画課(電話 044-201-3296、FAX044-201-3209)にご連絡ください。

他の掲載記事

- 総合水防訓練が行われました … P 2
- 東扇島シニアイベントを開催 … P 3
- 「第1期川崎区区民会議報告書」が完成 … P 4

総合水防訓練が行われました

1. 多摩川河川敷で水防訓練

6月4日、大師河原の多摩川河川敷にある「大師河原河川防災ステーション」周辺で、「川崎市総合水防訓練」が行われました。

☑ 大師河原河川防災ステーション

洪水や地震などの際に地域防災活動の拠点となる、ヘリポート、水防活動スペース、復旧用備蓄資材などを備えた施設。敷地内には市が管理する「大師河原水防センター」があります。「大師河原水防センター」は、洪水や地震などの災害時に復旧活動の拠点となるとともに、普段は多摩川の環境や防災について学ぶ場として活用されます。



カップを着て降雨体験車の中へ

土のうの作り方や流水侵入の防ぎ方などを学べる家庭防災訓練のコーナー、AED（自動体外式除細動器）の扱い方などを紹介した救急救命訓練のコーナーなどのほか、降雨体験車や自然災害体験車などの特殊車両も登場しました。



ヘリコプターによる救助訓練も

今回の訓練は水防・水難救助技術の向上を図るとともに、地域の方々にも防災意識を持っていただくことを目的として開催されました。当日は地元町内会や周辺にお住まいの方々も参加し、体験型の訓練に積極的に参加されていました。

2. 区民会議でも提案

第1期区民会議は19年度の審議テーマを「地域コミュニティの充実」とし、「地域防災部会」と「シニアパワー部会」を設けて審議しました。「地域防災部会」では地域の力で災害から街を守る方法について議論され、その中で新たに転入されてきた住民も交えての総合防災訓練を行うべきだという提案がありました。今回訓練の行われた大師河原は、近くに大規模マンションが建設されて間もないとあって区民会議でも注目しており、当日は区民会議委員も訓練に参加しました。



熱心な議論が行われた地域防災部会

東扇島シニアイベントを開催

6月25日、シニア世代を対象とした「臨海部から地域活動を考えるツアー」を行いました。当日の様子を紹介します。

1. 聞いて、見て、考えるツアー

今回のツアーは、川崎臨海部について理解を深めていただくと共に、シニア世代の方々が地域活動について考えるきっかけとなることを目的に行われました。

約70人の参加者は、まずは川崎マリエンで、区内で活動している市民団体について紹介を受けました。その後、地域史研究者として川崎の歴史に詳しい長島保先生による、「臨海部からわがまち川崎を考える」をテーマとした講演会を聞きました＝右上写真。以前川崎区にあった海水浴場や海苔の養殖の話、公害を克服してきた歴史などを、参加者は興味深げに聞いていました。



午後は今年4月にオープンした東扇島東公園を見学。ここにはおよそ50年ぶりに復活した人工の砂浜があり、参加者は波打ち際まで行って、川崎の海を楽しんでいました＝左上段写真。



その後は2班に分かれ、東京電力火力発電所の見学、市の巡視船に乗っての川崎港巡りを行いました。東京電力火力発電所では、先進的な環境技術について説明を受けた後、大きなタービンを実際に見学しました。川崎港巡りでは、海からの川崎港の姿を眺めるとともに、川崎港の歴史や現在について説明を受けました＝左下段写真。

当日配布したアンケートでは、「自分の持っている技術や経験を地域で活かしていきたい」「川崎には50年住んでいるが、知らないことがたくさんあり驚きだった」といった意見があり、このイベントをきっかけとして地域活動や臨海部について興味を抱いた様子でした。

2. 期待されるシニア世代

現在区内では大規模マンションの建設が続いています。人口が急増した地域では、人間関係が希薄になると同時に、地域活動の担い手が不足することが懸念されます。このような中、多様な経験や知識をお持ちのシニア世代が、地域で力を発揮することが期待されています。区民会議ではこうした観点から、「地域コミュニティの充実」のテーマの下、「シニアパワー部会」を設けて議論を深めました。今回のツアーは、「シニアパワー部会」での議論を基に企画されたものです。



活発な意見が飛び交ったシニアパワー部会

第1期川崎区区民会議報告書が完成

1. 2年間の取り組みをまとめた報告書

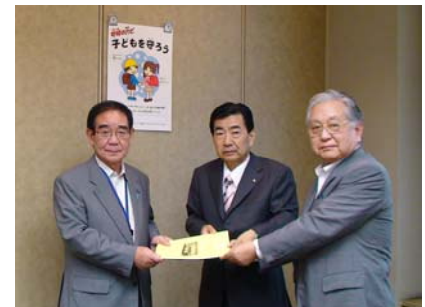
平成18年7月から平成20年6月までを任期として審議を行った第1期区民会議。その取り組みをまとめた報告書が完成しました。第1期区民会議で議論した「区のイメージアップ」「次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援」「地域コミュニティの充実」に関する取り組みの成果、課題解決に向けて「誰がいつ何をやるか」を決めた実行計画、全体会議・専門部会の議論のまとめなどが掲載されています。報告書は区役所、支所、市政資料コーナー（市役所第3庁舎）で配布しています。



2. 2年間の取り組みを市長に報告

6月26日、魚津利興委員長をはじめとする区民会議委員12人が報告書を持参し、阿部孝夫川崎市長に2年間の取り組みを報告しました。


魚津委員長からは、提言だけで終わることのないように実行計画を作成して、区のイメージアップや子どもの安全・安心、地域コミュニティの充実に取り組んだことについて報告がありました。また、荒井敬八副委員長からは、田島地区、大師地区で「区民会議集会」を開催し、制度の周知を図ったことが報告されました。これに対して阿部市長は「これから地域に区民会議制度を根付かせていくのが大事だと思います」と応じていました。



中央：魚津委員長、右：荒井副委員長。後ろは区民会議の成果の1つ、地域見守り看板



第1期委員のみなさん、2年間お疲れ様でした

 **区民会議情報はホームページでもご覧になれます**

区ホームページ内にある「川崎区区民会議のページ」では、過去の会議の要点がまとめられているほか、議事録も公開されています。

<http://www.city.kawasaki.jp/61/61kawasakiku/kuminkaigi/index.htm>